|  |
| --- |
| 杉並区公共施設景観形成指針に対する措置状況説明書 |
| ５－３　幹線道路 |
| 当該行為における景観形成に関する考え方 |
| 記載欄 |
| ５－３－①舗装 |
| 舗装は、大きな面積を占め、道路景観の印象にも大きな影響がある。道路空間の基盤としてシンプルなデザインとする。 |
| 記載欄 |
| (ア)車道 |
| ・都市や地域をつなぐ役割を持つ「道路の基盤」として、シンプルなデザインとする。 |
| 記載欄 |
| ・落ち着きのある色とする。カラー舗装は、多用しない。 |
| 記載欄 |
| (イ)歩道 |
| 周辺景観との調和に配慮するとともに、歩行者の目にやさしい色彩や歩きやすい材料とする。 |
| 記載欄 |
| ５－３－②歩道 |
| 快適な歩行者空間をつくる。 |
| 記載欄 |
| ・無電柱化により、すっきりとした快適な歩道空間をつくる。 |
| 記載欄 |
| ・地上機器（変圧器等）は、目立たない場所に置いたり、目立たない色を使う。 |
| 記載欄 |
| ・四季を感じる植栽帯により潤いのある空間をつくる。 |
| 記載欄 |
| ・小広場やポケットパークを確保し、ゆとりとふれあいのある空間にする。 |
| 記載欄 |
| ５－１－③植栽 |
| 道路の植栽は、道路景観を向上させるだけでなく、防災や環境保全、癒し等様々な効果が期待できる。植栽を工夫し、道路景観の演出に努める。 |
| 記載欄 |
| (ア) 特徴ある並木道をつくる |
| ・地域に由来のある樹木の選定や地域の既存樹木の保全などにより、地域性を表現する。 |
| 記載欄 |
| ・四季を感じることができるよう、樹種の選定を工夫する。 |
| 記載欄 |
| （イ）みどりのベルトづくりの推進「みちのみどり軸」の形成を進める。 |
| ・並木道の続く幹線道路網をつくることにより、「みどりと水の空間軸」と一体となって「みちのみどり軸」を形成　する。 |
| 記載欄 |
| ・植樹帯を連続して設けることにより、歩行者が安心して快適に歩ける空間をつくる。 |
| 記載欄 |
| ５－１－④道路附属物・専用物 |
| 道路空間には様々な道路付属物や道路占用物等が設置されている。わかりやすく、すっきりとしたデザインで、統一感のある道路空間を整える。 |
| 記載欄 |
| ・防護柵は安全性を確保しつつ、落ち着いた色彩とし、デザインを工夫する。 |
| 記載欄 |
| ・標識類はデザインの統一や共架にする。 |
| 記載欄 |
| ・ファニチャー類は他の道路占用物や付属物とデザインを統一する。 |
| 記載欄 |

|  |
| --- |
| ・照明施設で地域の個性を演出する。 |
| 記載欄 |
| ・歩道橋はシンプルなデザインや色彩とし、配水管などの付属物は本体と一体化するなど、外観の印象を　　すっきりさせる。 |
| 記載欄 |
| 上記以外で特に景観に配慮した事項 |
| 記載欄 |